

» 環境会計 » これまでの実績 » 開示対象サイト一覧

環境活動データ集

環境会計

DNPでは、環境経営管理および社会とのコミュニケーションツールとして活用するために、環境省「環境会計ガイドライン2005年版」に従って、大日本印刷および財務会計上の連結対象会社のうち、国内の製造会社と物流会社の製造拠点、研究開発の拠点、事務所ビル、営業所を対象とした環境関連費用を取りまとめて公表しています。

分類	投資額 (単位: 百万円)		費用額 (単位: 百万円)		主な取り組みの内容	環境報告書 掲載ページ
	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度		
(1) 事業エリア内コスト						
① 公害防止コスト	414	466	1,078	691	VOC回収・除去装置、排水処理施設	18、28-30
② 地球環境保全コスト	1,920	2,090	467	293	省エネ設備、省エネ型照明へ切替	18、19、22-24
③ 資源循環コスト	141	113	1,762	1,648	焼却炉整備、分別リサイクル、ゼロエミッション(RPF・セメント原料化)、資源循環利用	18、19、25
(事業エリア内コスト計)	2,475	2,668	3,308	2,632		
(2) 上・下流コスト	0	0	153	140	容器包装リサイクル費用負担、リサイクルシステム開発	20、21
(3) 管理活動コスト	0	0	2,525	2,458	ISO14001 審査登録費用、環境教育費用、環境報告書作成費用	10-13、15-16、21
(4) 研究開発コスト	0	0	4,176	5,316	環境に配慮した製品および生産方式の研究開発	17、20
(5) 社会活動コスト	0	0	12	15	工場敷地外の環境保全、生物多様性保全、環境保全団体活動支援	31
(6) 環境損傷対応コスト	0	0	0	0	モニタリング	14
合計	2,475	2,668	10,173	10,561		

● 全コストに占める環境保全コストの割合

分類	連結会計 (単位: 百万円)	環境保全 (単位: 百万円)	環境比率
当該期間(2023年度)の 投資額	68,300	2,668	3.91%
当該期間(2023年度)の 研究開発費	35,236	5,316	15.09%

» 環境会計 » これまでの実績 » 開示対象サイト一覧

環境活動データ集

環境会計

(1) 事業エリア内コストに対応する効果

環境保全効果の分類	効果を表す指標の分類	指標の値			注釈	環境報告書 掲載ページ
		2022年度	2023年度	前年比較		

① 事業活動に投入する資源に関する環境保全効果

総エネルギーの投入	エネルギー消費量(TJ)	15,040	13,540	-1,500		17-19、22-24
	売上高原単位(TJ/億円)	1.10	0.95	-0.14	売上高1億円当たりのエネルギー消費量	17-19、22-24
水の投入	水の使用量(千m ³)	7,260	7,300	40		17-19、27
	売上高原単位(千m ³ /億円)	0.53	0.51	-0.02	売上高1億円当たりの水の使用量	17-19、27
主要原材料の投入	投入量(千t)	1,131	1,002	-129		18、25
	不要物総排出/投入量(%)	21.8	24.7	3.0	主要原材料に対する不要物の割合	18、25

② 事業活動から排出する環境負荷および不要物に関する環境保全効果

大気への排出	SOx排出量(t)★	4.7	5.5	0.8		18、29
	NOx排出量(t)★	447	440	-7		18、29
	環境負荷物質排出量(t)	13,166	13,351	185	VOCの排出量	17-19、29
水域への排出	COD排出量(t)★	17.8	19.3	1.5		18、28
	環境負荷物質排出量(PRTR対象物質)(t)	0.0	0.0	0.0	報告対象となる物質なし	30
不要物の排出	不要物総排出量(千t)	245	247	2		18、19、25
	廃棄物排出量(千t)	50.5	46.6	-3.9		18、25
	売上高原単位(t/億円)	17.8	17.4	-0.4	売上高1億円当たりの不要物総排出量	19
	リサイクル率(%)★	98.7	98.8	-0.1	不要物総排出量に対する主要不要物のリサイクル量の割合 個別では、紙99.9%、プラ95.5%、金属99.0% ※算出方法の見直しを行いました。	26
	環境負荷物質移動量(PRTR対象物質)(t)★	1,743	1,754	12	報告対象となる28物質の合計	30
温室効果ガスの排出	温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	763	745	-18		17-19、22
	売上高原単位(t/億円)	56	52	-3	売上高1億円当たりのCO ₂ 排出量	17-19、22

★ 国内限定

» 環境会計 » これまでの実績 » 開示対象サイト一覧

環境活動データ集

環境会計

(2) 事業活動から産出される財・サービスに関する環境保全効果

環境保全効果の分類	効果を表す指標の分類	指標の値			注釈	環境報告書 掲載ページ
		2022年度	2023年度	前年比較		
事業活動から産出される財・サービスに関する環境保全効果						
製品出荷後のCO ₂ 排出	CO ₂ 排出量(千t-CO ₂)★	1,087	1,094	7	Scope3のカテゴリ4の一部、9、10、11および12の合計値	22、24
	CO ₂ 排出量/売上高(千t-CO ₂ /億円)	0.079	0.077	-0.002	国内販売額1億円当たりのCO ₂ 排出量	22、24

(3) その他の環境保全効果

効果を表す指標の分類	2022年度	2023年度	前年比較	注釈	環境報告書 掲載ページ
輸送環境負荷に関する効果					
製品等輸送時のエネルギー使用量(kℓ)★	15,710	14,850	-860	荷主としての輸送時の原油換算のエネルギー使用量	23
輸送時のエネルギー使用量/売上高(kℓ/億円)	1.14	1.04	-0.10	生産高1億円当たりの排出量	23

環境保全対策にともなう経済効果	金額(単位:百万円)			注釈	環境報告書 掲載ページ
	2022年度	2023年度	前年比較		
(1) 売上増加 ① 研究開発コストに対応する経済効果					
環境配慮製品・サービス売上高	163,100	170,590	7,490		17、20
(2) 収益増加 ② 資源循環コストに対応する効果					
不要物のリサイクルによる事業収入★	2,055	1,883	-172	廃プラ・廃油などの売却額	26

★ 国内限定